



藤谷謹至
議員
(拓政会)

問 高齢者人口の増加に伴い、高齢者等交通弱者の移動に対応するため将来にわたりその手段を確保することが自治体に求められている。

幕別町においては、まくバス、さつバスのコミュニティバス（以下「コミバス」という。）、古舞線、駒富線の予約型乗合タクシーが運用されており、幕別町地域公共交通システムが構築されつつあると認識している。しかし、忠類地域においては公共交通空白地域が存在する状況にある。以下の点について伺う。

(1) コミバス、予約型乗合タクシーや外出支援サービスの登録者数との利用状況と効率的に持続するための方策について。

(2) 地域別利用状況および今後の方策について。

(3) 公共交通空白地域である忠類地域における公共交通の今後の方策について。

町長

(1) コミバスと予約型乗合タクシー

今後の方策については、出前講座での周知に加え、図書館で開催の「コミバスde映画会」などのイベントでのPRや体験乗車会、バス内での作品展示などを開催することにより、多くの人に親しまれるバスとなるよう努めしていく。

(2) 幕別地域では、自宅から管内の医療機関への受診や行事への参

加、買い物などを利用の範囲としているが、忠類地域では、忠類と

幕別町においては、まくバス、さつバスのコミュニティバス（以下「コミバス」という。）、古舞線、駒富線の予約型乗合タクシーが運用されており、幕別町地域公共交通システムが構築されつつあると認識している。しかし、忠類地域においては公共交通空白地域が存在する状況にある。以下の点について伺う。

(1) コミバス、予約型乗合タクシーや外出支援サービスの登録者数との利用状況と効率的に持続するための方策について。

(2) 地域別利用状況および今後の方策について。

(3) 公共交通空白地域である忠類地域における公共交通の今後の方策について。

の利用状況は次表のとおりで、徐々にコミバスの認知度が上がり、利用者が増加してきている。

【H 26 コミバスの利用状況】

	まくバス	さつバス	計
利用者数	3,637人	6,130人	9,767人
1日平均	14.8人	24.9人	39.7人
1便平均	3.0人	5.0人	4.0人
	4~9月	10~3月	増減
利用者数	3,620人	6,147人	2,527人の増
1日平均	29.0人	50.8人	21.8人の増
1便平均	2.9人	5.1人	2.2人の増

【H 26 予約型乗合タクシーの利用状況】

	駒富線	古舞線
利用者数	351人	597人
1日平均	1.4人	3.2人
運行回数	255回	308回
1日平均	1.0回	1.7回

※古舞線は9カ月間の実績

答 **問** 高齢化の進行に伴う交通弱者の効率的な地域公共交通システムの構築
引き続き地域の皆さん意見を伺い、公共交通のあり方について検討していきたい



大樹町の医療機関への受診を目的とする利用に限定して運行している。高齢化が進展していく中で、公共交通等の移動手段との整合を図り、事業の在り方について速やかに一定の指向性を見出していくかなくてはならないと認識している。

【H 26 外出支援サービスの利用状況】

	幕別	忠類
登録者数	301人	24人
利用者数	215人	24人
利用回数	2,247回	240回

再質問 (1) コミバス停留所のベンチおよびAED（自動対外式除細動器）の設置をしてはどうか。
(2) 外出支援サービスの柔軟的な運用について。
(3) 忠類地域の実現可能な公共交通について。

(3) 高齢者が増えれば需要は増えてくるので、常に住民ニーズを伺いながらどうあるべきか検討していくなければならないと思う。今後、大幅な利用時間とはならないと思うが、できるところは柔軟に対応していきたいと考えている。

(3) 高齢者が増えれば需要は増えてくるので、常に住民ニーズを伺いながらどうあるべきか検討していくなければならないと思うが、できるところは柔軟に対応していきたいと考えておられる足の確保ができるのかを考えていきたい。